

## Editor's Note

---

今号は2005年11月に編集委員長の大任を仰せつかりましてから最初の会誌となります。『現代ディスクロージャー研究』は歴代の会長と編集委員長、会員の皆様の多大なるご尽力のおかげで、ディスクロージャー研究では国内有数のジャーナルに育っています。とりわけ実証会計研究の領域では自他ともに認めるトップジャーナルの一つであります。会誌の編集を引き継ぐにあたり、本学会の設立趣意書と2001年の「ディスクロージャー新世紀宣言」をもう一度読み直してみました。いずれもアカデミズムと実務の連携を強く訴えています。私たち研究者はディスクロージャーを単なる研究対象として捉えるだけでなく、広く社会への発言を求められています。

会誌の一層の質の向上と投稿数の増加に向けて、今号が刊行されるまでにいくつかの改善を行いました。第1に、これまでは号ごとに編集委員会が組成されてきましたが、恒常的な編集委員会が設置されました。本委員会はディスクロージャーの理論、実証、制度、システム、実務を研究対象とする専門家からなります。学界と実務に貢献の高い学会誌として高水準の品質を保持し、一定の編集方針に従い、会計ディスクロージャーだけではなく、広範な領域の原稿を受け入れる所存です。第2に、オンラインでの投稿・審査プロセスに移行しました。会員の皆様は学会ホームページから随時投稿が可能です。第3に、アカデミズムと実務の連携をはかるため、新たに「実務展望」のセッションを設けました。「実務展望」は学術論文とは性格が異なるため、査読を行いません。研究論文と同様に学界と実務に大きな貢献が期待されます。第4に編集規程等の整備です。新たに本学会の編集規程が常任理事会で承認され、それに基づいて、投稿規程を整備しました。著作権等の取り扱いが変更になっていますので、本誌の投稿規程をご参照願います。

編集委員と査読委員の方々にご心より御礼申し上げます。学会誌の編集は会員としての責務ですが、各編集委員の献身的な編集作業がなければ、今号は刊行できなかったと思います。また、査読委員の厳格かつ建設的なコメントと執筆者の真摯な対応によって、本学会誌の質的な水準が確保されています。

会誌8号からは研究論文の字数制限がなくなります。また、年次大会に加えて、編集委員会主催の研究カンファレンスも予定しています。編集委員会は、ディスクロージャーに関するあらゆる領域において、特定の研究アプローチに限定することなく、独創的な研究論文の投稿を歓迎しています。私たちはアカデミズムと実務の連携を目指して、独創的な学術研究と実務的な貢献の二兎をおってみたいと思います。

最後に、これまでの國村道雄教授と須田一幸教授の編集委員長としてのリーダーシップと献身的な編集に厚く御礼申し上げます。編集委員会は、両教授の志を引き継ぎ、会誌の一層の発展を望んでいます。会員の皆様のご協力、ご支援を心からお願い申し上げます。

編集委員長  
薄井 彰

## 編集データ

『現代ディスクロージャー研究』第7号の編集状況は次の通りである。すべての原稿は、編集委員会が掲載の採否を決定した。「論文」セッションの原稿は、複数の匿名査読委員によってレビューされている。「実務展望」セッションの原稿は、レビュープロセスを実施していない。

### 「論文」セッション

受付数	6
受理数	2
採択率	33%

編集委員会

## 謝 辞

現代ディスクロジャー研究は、第7号の査読委員であった以下の方々に感謝の意を表します。査読委員の方々のご協力がなければ、学会誌の品質は確保できなかったといえます。謹んで御礼申し上げます。

奥田 真也	大阪学院大学
奥村 雅史	早稲田大学
加賀谷哲之	一橋大学
坂上 学	大阪市立大学
首藤 昭信	専修大学
竹原 均	早稲田大学
田宮 治雄	東京国際大学
中條 祐介	横浜市立大学
野口 晃弘	名古屋大学
百合草裕康	兵庫県立大学
吉田 和生	名古屋市立大学
吉田 靖	千葉商科大学